

## 「新型インフルエンザの関西経済への影響調査」結果

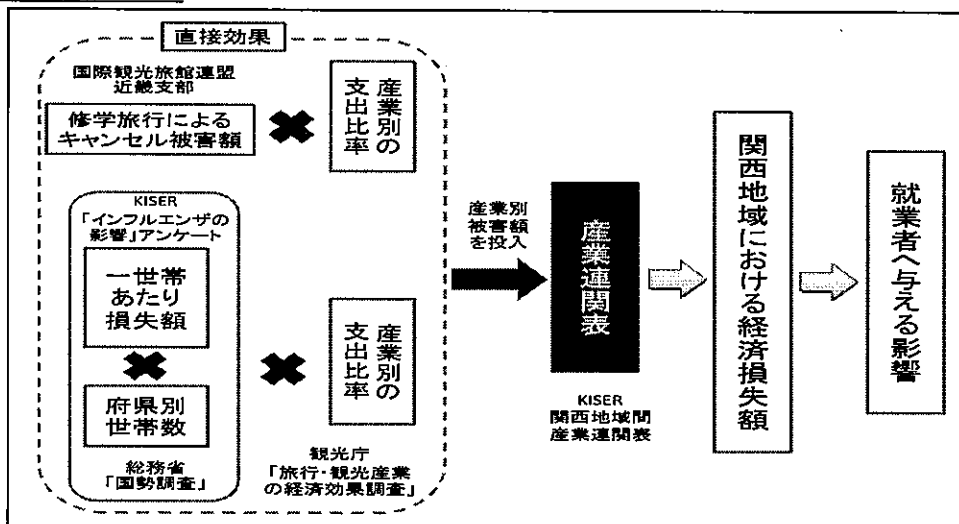
－ (社) 関西経済連合会委託調査 －

当研究所は、関西経済連合会（下妻会長）が政府への提言活動等を行っていく際の基礎調査として、本年5月以降の新型インフルエンザの感染拡大が関西経済に与えた経済的影響に関する調査を受託した。

本調査では、関係業界へのヒアリング、関西および全国の消費自粛行動に関する独自アンケート、KISERが持つ関西地域間産業連関表をもとに、新型インフルエンザが関西経済に与えた影響を推計した。この結果、生産額ベースで2,383億円、GRPベースで1,312億円の損失があると推計された。これは関西2府5県のGRPの0.15%に相当する。また、就業者ベースでは15,000人分以上に相当する労働需要の減少をもたらしたと推計される（休業・一時離職含む）。

この度の感染拡大が関西経済全体を押し下げたとまでは言えないが、観光関連など特定産業の経済損失は大きい。例えば、旅館業では生産額の1.3%が失われることになる。再び本格的な感染拡大に入ろうとしている現在、必要に応じて適切迅速な支援策を講じることが望まれる。

### 調査方法イメージ



### 結果概要

|                   | 直接効果     | 間接効果     |          | 就業喪失効果(人) |
|-------------------|----------|----------|----------|-----------|
|                   |          | 損失額      | 生産減少額    |           |
| 関西域内在住者の自粛行動による影響 | -64,489  | -120,021 | -66,653  | -7,622    |
| 関西域外在住者の自粛行動による影響 | -61,565  | -113,847 | -62,033  | -7,230    |
| 修学旅行キャンセルによる影響    | -2,439   | -4,441   | -2,479   | -282      |
| 計                 | -128,493 | -238,309 | -131,164 | -15,134   |

単位：百万円